

TURBAN LAND

プログラム 2025

浅草みらいど

プレLAND2年目となる浅草みらいどが取り組むのは、
きむらとしろうじんじんの移動式陶芸お抹茶屋台

「野点」

(のだて)

利用者たちと意見を出し合い

「山谷堀大茶湯かぞく」

と名付けました。

TURN LANDでは、

アーティストと福祉施設が協働し、日常の中に、
人と関わるきっかけをつくる活動を行っています。

前衛茶道団!かも。
茶集

ドラアグクイーンの格好をしたり、
茶碗を選んで絵付けをしたり、
焼き上がった器で家族に
抹茶を点てたり、
「ソーラン節」を踊ったり。
思い思いに過ごし交流する、
穏やかな風景を眺めながら、
一服どうぞ。

日向でまったり。お茶も。



山谷堀大茶湯かぞく (さんやぼりおおちゃのゆ)

ある利用者の「お抹茶を飲んでみたい」のひと言から始まりました。
 じんじんはそれに応え、利用者たちに抹茶を振る舞い、
 それにより茶の湯を通じての交流が習慣化していきました。
 じんじんの「野点」では、じんじん作の素焼き茶碗に絵付けができ、
 焼きあがった器の煤を落とすなど、多様な作業を通じて
 その場を一緒につくる仲間になれます。
 じんじんを迎え、茶の湯を囲んで思い思いに過ごすうちに、
 出合いが溢れ、家族が増えたような温かな体験になりました。



浅草みらいど

浅草今戸にある複合障害者施設。

1階のカフェでは就労支援、2階では通所の生活介護、
 3・4階ではグループホームを運営する。



1分間の
活動紹介動画

Project Members

きむらとしろうじんじん

Kimura toshiro jinjin

1995年より移動式屋台「野点」を全国で
 展開。参加者が絵付けした器を
 ドラッグ姿のじんじんがその場で焼き、
 抹茶を振る舞う体験型アートだ。
 日常の路上を誰もが表現を介して
 出会える場に変え、
 異様で心地よい風景を立ち上げる。

TURN LANDプログラム事務局

一般社団法人

谷中のおかって

Yanaka no okatte

多様な人々がアートプロジェクトを
 運営する際の伴走サポートや、
 より多くの人々が個々のアーティストの
 世界観に出会い協働できるような
 状況をつくるチーム。



photo: Ayaka Umeda



1. ドラッグクイーンの格好をした
 きむらとしろうじんじん
 2. TURN LANDプログラム事務局
 一般社団法人 谷中のおかっての
 メンバー

MIRAI DO PROCESS

「山谷堀大茶湯かぞく」ができるまで

企画会議

今年やってみたいことをじんじんが利用者たちに尋ねると、昨年「野点」で絵付けのみ体験をした利用者から「抹茶を飲みたい」と声が上がった。

会場&協力者探し

利用者と体を動かし、昼食を共にしながら、施設向かいの公園の使い方を検討。「野点」の屋台が搬入できそうかを確認し、地域に協力を依頼しながらリサーチをした。

タイトル決め

職員が保護者に協力を呼びかけ、利用者から募った企画タイトル案を発表。出てきたワードを並べ替えながら、意見を出し合った。

入居者との花火大会

グループホーム入居者たちとベランダから見える花火を堪能した。元職員や施設関係者も参加して、施設の習慣や歴史を知る機会となった。

協力者への説明会

会場を変えて2回実施。地域協力者たちに雨天時用のテントや駐車場を借りられないか相談し、本番の運営サポートもお願いした。

アーティスト、施設の職員、利用者の皆さんとの交流がそれぞれの特性を活かしたアートプログラムをつくりあげます。

本番

利用者たちはリハーサルで絵付けした器で家族に抹茶を点てた。高校生や業務外で足を運んだ施設関係者も加わり、出会いの輪が大きく広がった。

リハーサル

スタッフの練習を兼ね、利用者とその家族が絵付けを体験した。多くの職員がその場を支えた。外部協力者たちが職員や利用者、家族と出会う機会となった。

冷抹茶体験

じんじんが点てた砕いた氷入りの抹茶に、戸惑う利用者も職員の姿に導かれ挑戦。お抹茶を点てる練習が施設の新たな習慣として始まった。



家族

来訪者

地域

みんなで
つくった

「山谷堀大茶湯」 かぞく

SANYABORI OUCHANOYU

グループホームの利用者は
茶碗磨きや新聞ちぎりなどの
準備を担い、野点の
スタッフとして活躍。



みんなで新聞ちぎるの
楽しい~

会場には協力者が発案した
人力者体験やお絵描きコーナーなどもあり、
その場に訪れた人々との交流が
あちこちで生まれていました。



当日は通りがかりの人々から狙ってきた方まで
みんなが障害の有無を気にせずのんびりと
共に「野点」のある風景を楽しみました。

RELAX



ちゃっちゃちゃ

休みの職員がプライベートで絵付けをしに来たり、
会場となった公園では利用者たちが得意のダンスを披露したり、
お抹茶を点てて家族に振る舞う風景も。



利用者
にとって

安心して過ごせる
仲間が増えた

アーティストとの共創の場は、社会的立場を気にせず
無邪気楽しめる時間となり、仕事としてではなく
純粋に創作を楽しむ機会となりました。

アーティスト
にとって

利用者との交流が
有意義な問いを生む

利用者からの意見は、普段とは異なる角度から参加者にとっての
価値を問う機会となり、協働するプロジェクトを行う表現者にとって
有意義な学びの場となりました。

職員
にとって

利用者の家族や地域と
関わる時間が増えた

アートプロジェクトを通じた利用者の家族や地域との交流は、
問題を解決するための関わりではないので、
互いにリラックスした状態で関われ、心理的距離が近づきました。

MEMBERS' COMMENTS



きむらとしろうじんじん
(アーティスト)

「茶の湯ってすごい」

障害の有無を超えて、茶の湯の魅力が自然と伝わったことには驚き、改めて一期一会の価値を見直しました。
準備しすぎずに交流しながら一緒につくる経験が、良い意味で予想外の展開を導いてくれました。



佐々 紀和
(浅草みらいど職員)

「新たな出会いが楽しい」

じんじんさんの奇抜なメイクと格好をみて、「やばいー！」と女子高生が驚いていたのが印象的でした。
これからどんな出会いが生まれていくのか楽しみです。

「地域課題を越えて」

東京都の主催だったことで、町会などの枠を超えた協力関係が築けたことで、新たなつながりが生まれていてよかったです。
若い人も多く、世代を超えて協働できる貴重な機会だと感じました。

地域の協力者



三宅 将太
(浅草みらいど職員)

「家族同士の交流の場にも」

普段利用者の家族とお会いするのは、保護者会や面談時などのため、のんびりと楽しむ場での交流は貴重でした。
利用者が家族という時の様子もじっくり見れて、家族同士の繋がりも生まれているようでしたし、施設運営にとっても有意義な時間でした。



TURN LAND
プログラム事務局

「緩やかに広がる『かぞく』」

浅草みらいどは、2022・23年に地域協力施設として「野点」に参画後、主宰として2年目を迎えました。
昨年は施設入居者、今年は生活介護利用者が企画から参加。複合施設の特徴が職員や家族との連携で形となり、新たなつながりも生まれており、今後の展開が楽しみです。



藤野さん
(浅草みらいど利用者)

「じんじんさんは面白い人」

とにかくまた会いたいです。
面白い人なので、また一緒にご飯を食べたりしたいです。
「野点」で焼いた器は、部屋に大事に飾っています。
たまにお茶を飲んだりもします。
見るとじんじんさんを思い出します。



武田さん
(浅草みらいど利用者)

「一緒に作業した仲間に会いたい」

来年もまた作業を手伝いたいです。
ボルトを留めたり、茶碗を磨いたりしながらおしゃべりするのが楽しみです。

TURN LAND

ってなに？

福祉施設などを拠点に
アートプロジェクトを行う
文化事業です。

誰がやってるの？

東京都、アーツカウンシル東京、一般社団法人谷中のおかってが
共催する事業です。東京都内にある福祉施設や福祉事業所を拠点に、
その施設に出入りする人々（職員や利用者、その家族や地域協力者など）と
プロジェクトチームをつくり、力を合わせてアートプロジェクトを
企画・運営します。

どんなアーティスト？

音楽やダンス、演劇、映像、手工芸など
表現のジャンルはさまざま、その場に関わる人々との
コミュニケーションを楽しみ、交流を通じた
新たな手法開発に前向きな姿勢がある。

なぜアート？

共創型のアートプロジェクトでは、
「作品」をつくるだけではなく、
そこにいる人々と「アートなひととき」を
つくることができます。
これは文化のアウトリーチでもあり、
医学的ケアを超えて、誰もが「人」として
社会参加できる文化的な時間をつくる
挑戦です。

なぜ福祉施設でやるの？

障害のある方々が落ち着いて
時間を過ごせる環境
(設備や習慣、人との関係)がある。

個々の障害特性と向き合うことで、
障害をこえて一緒に楽しめる
プログラムが開発できる。

さまざまな理由で文化施設などに
行くことができない
障害のある方たちにアートを届ける。

主催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団
アーツカウンシル東京、一般社団法人 谷中のおかって
発行：2026年3月25日
アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）
※営利・非営利を問わず、当資料のコンテンツを許可なく
複製、転用、販売など二次利用することを禁じます。

